

平成24年度会計の 決算を報告します

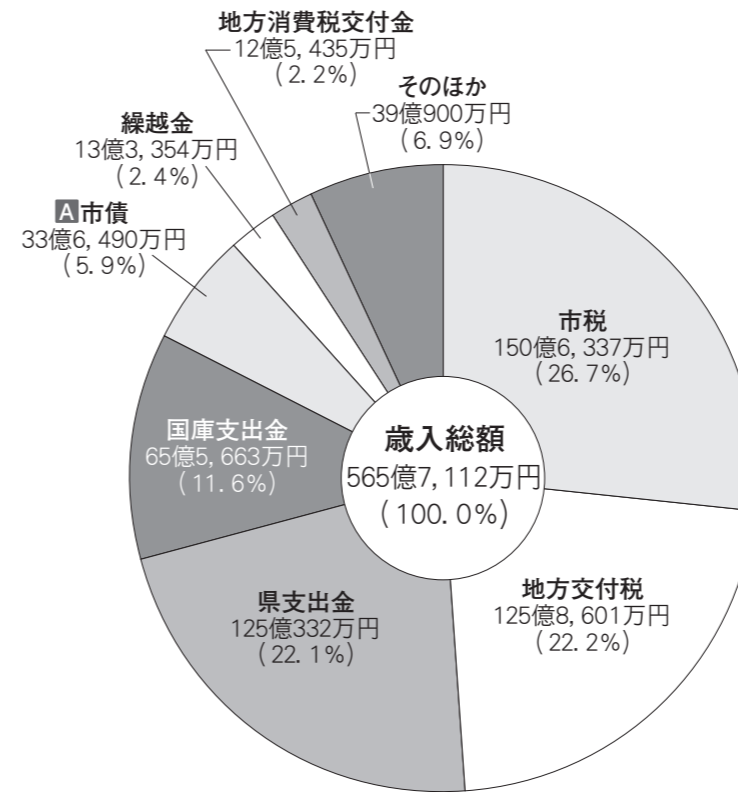
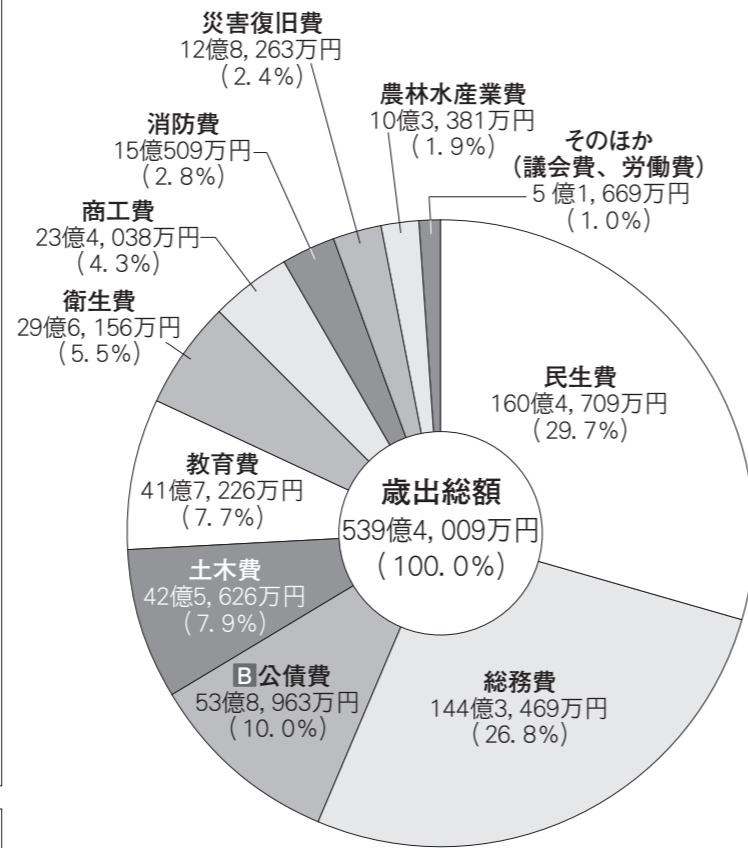
市の平成24年度の決算額が確定しました。ここでは一般会計と国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の決算の概要と、市の財政状況についてお知らせします。

※国民健康保険と介護保険の特別会計の決算は3～4ページを参照。そのほかの特別会計の決算については、左下をご覧ください。詳しい市の財政状況は、5～6ページでお知らせします



高齢者が元気で生き生きと生活できるように健康づくりの事業を行っています。市民の皆さんが健康に過ごすためのさまざまな取り組みにも税金が使われています

平成24年度一般会計の 歳入と歳出の内訳

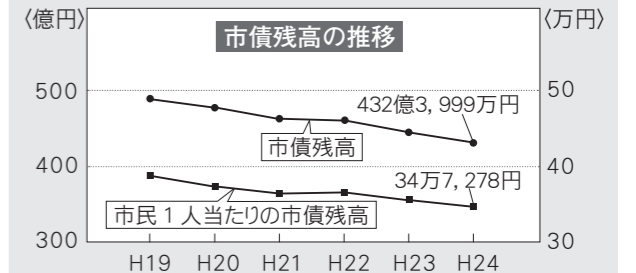


市税の内訳と割合

税目	収入済額	割合
固定資産税	72億 7,989万円	48.3%
個人市民税	49億 3,628万円	32.8%
法人市民税	14億 9,653万円	9.9%
市たばこ税	10億 1,841万円	6.8%
軽自動車税	2億 2,054万円	1.5%
入湯税	1億 1,172万円	0.7%
合計	150億 6,337万円	100%

A市債とB公債費について

その年度に借り入れるお金を「市債」、返済するお金を「公債費」と呼びます。市債は、大規模な建設などに充てるために借入れられるものです。市債残高は、年々減少傾向にあり、今年度も減らすことができました(下のグラフ参照)。



歳出の主な事業

- 総務費** ▶ 地域給付金事業に…91億7,112万円 ▶ ICT地域のきずなづくり事業に…1億6,511万円 ▶ 食品などの放射能検査に…2,996万円
- 民生費** ▶ 児童手当の支給に…17億2,410万円 ▶ 後期高齢者医療に…15億509万円 ▶ 障がい者自立支援給付に…13億9,210万円
- 衛生費** ▶ 子宮頸がんなどの予防に…9,459万円 ▶ 不活化ポリオワクチンなどの接種に…4,696万円
- 農林水産業費** ▶ 土地改良事業に…8,848万円 ▶ 地域農業の総合的な支援に…9,184万円
- 商工費** ▶ 「八重の桜」プロジェクト事業に…2億3,658万円 ▶ 企業誘致促進のために…1億8,375万円 ▶ 地域経済の活性化のために…4,127万円
- 土木費** ▶ 会津総合運動公園・陸上競技場などの整備のために…3億8,009万円 ▶ 道路の舗装・改良に…1億8,707万円
- 教育費** ▶ 学校施設の耐震化事業に…2億3,167万円 ▶ 鶴城小学校の旧校舎の解体などに…2億2,124万円 ▶ 会津図書館の本の購入などに…5,929万円
- 災害復旧費** ▶ 除雪・排雪のために…8億8,130万円 ▶ 学校施設の復旧に…1億9,813万円 ▶ 公園などの復旧に…9,398万円 ▶ 道路などの復旧に…5,938万円

特別会計の平成24年度決算

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険	132億 410万円	131億7,607万円
湊町簡易水道	576万円	412万円
西田面簡易水道	1,162万円	218万円
観光施設	2億7,030万円	2億5,260万円
下水道	35億8,184万円	33億8,841万円
地方卸売市場	1億7,719万円	1億7,425万円
扇町土地区画整理	15億3,124万円	15億1,370万円
農業集落排水	4億 755万円	4億 167万円
介護保険	96億9,976万円	94億8,445万円
個別生活排水	1億8,974万円	1億7,479万円
三本松地区宅地整備	1億2,335万円	188万円
後期高齢者医療	11億4,352万円	11億3,698万円
合計	303億4,597万円	297億1,110万円

03 ●問い合わせ：財政課(☎39-12)

将来の負担を増やさないために
公共施設の整備や大規模な改修工事を行う場合は、その年の収支だけでは負担が大きいため市債を発行しています。しかし、市債は返済しなければなりません。市では、将来の負担を大きくしないよう、市債残高の低減に努めており、将来の財源不足などの事態に備えるため、財政調整基金などを積み立てています。

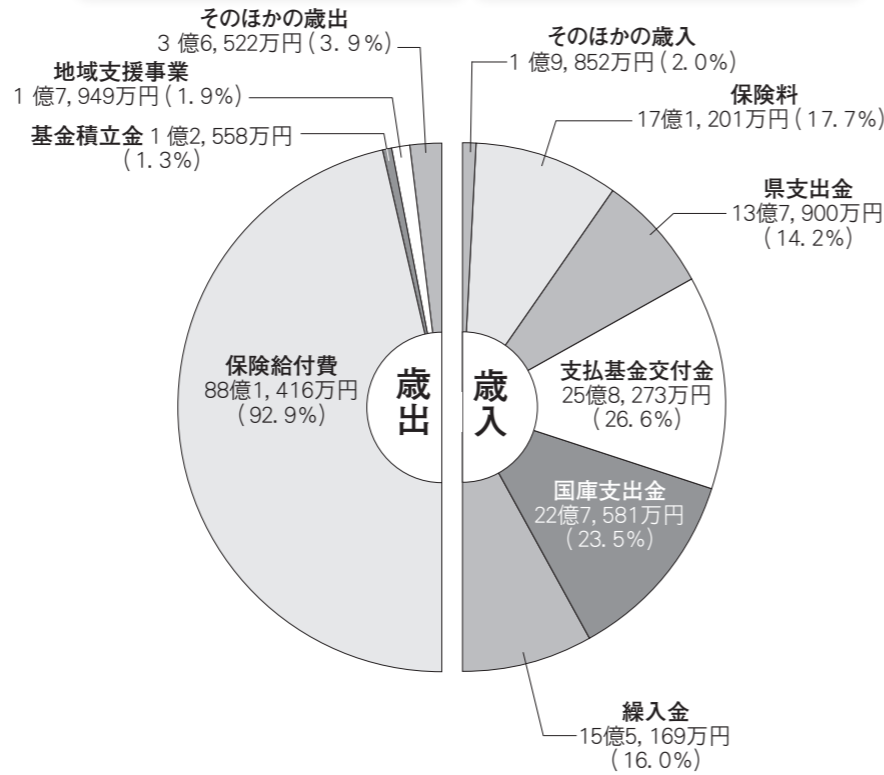
歳入
歳入の中心である市税は、固定資産税が評価替えなどにより減少した一方で、税制改正による年少扶養控除の廃止などにより個人市民税が増加しました。また、震災後の特別需要などの影響により法人市民税も増加しました。このほか、地方交付税は微増でしたが、地域給付金事業により県支出金が大幅に増加しました。

歳出
歳出においても歳入と同様に、地域給付金事業の経費が歳出額を大きく押し上げました。震災により被害を受けた公共施設などの復旧工事、原発事故による各種産業への風評の払拭や放射線から健康を守るための事業を昨年度に引き続き実施するとともに、ICT(情報通信技術)を活用した事業にも取り組みました。このほかでは、新陸上競技場の完成で会津総合運動公園の整備が一段落したことにより土木費は減少しました。

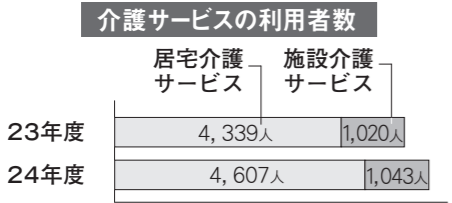
一般会計の決算が確定しました

介護保険特別会計の 平成24年度決算の概要

▶歳出総額 94億8,445万円(100%)
▶歳入総額 96億9,976万円(100%)



区分	23年度	24年度
75歳以上	17,219人	17,504人
65歳以上75歳未満	14,462人	14,857人
40歳以上65歳未満	43,134人	42,810人



区分	23年度	24年度
要支援1	1,141人	1,259人
要支援2	900人	910人
要介護1	1,193人	1,244人
要介護2	911人	976人
要介護3	739人	747人
要介護4	763人	838人
要介護5	721人	677人

用語の解説

【歳入】▶国庫・県支出金…一定の基準に基づいて国や県が負担するお金▶繰入金…市の一般会計から一定の基準に基づいて繰り入れるお金
【歳出】▶保険給付費…介護サービスにかかる費用や、利用者の自己負担が一定額を超えた際に支払われる高額介護サービス費など▶地域支援事業費…運動教室や講座など、介護予防のための事業に使われるお金▶基金積立金…保険給付費などの将来の増加に備えるために積み立てるお金

年度	区分	納めるべき保険料	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
24年度	現年度分	17億2,727万円	17億593万円	98.8%	0円	2,423万円
	滞納繰越分	3,841万円	608万円	15.8%	1,352万円	1,880万円
	合計	17億6,568万円	17億1,201万円	97.0%	1,352万円	4,303万円
23年度	現年度分	13億4,359万円	13億2,605万円	98.7%	0円	1,984万円
	滞納繰越分	4,020万円	434万円	10.8%	1,727万円	1,859万円
	合計	13億8,379万円	13億3,039万円	96.1%	1,727万円	3,843万円
比較増減	現年度分	3億8,368万円	3億7,988万円	0.1	0円	439万円
	滞納繰越分	▲179万円	174万円	5.0	▲375万円	21万円
	合計	3億8,189万円	3億8,162万円	0.9	▲375万円	460万円

誰もが安心して暮らすために

介護保険は、介護を社会全体で支え合うための保険制度です。40歳以上の全ての人は、介護保険に加入します。介護サービスを利用した人が支払うお金は、かかった費用の1割で、残りは介護保険から支払われます。本市では、高齢者人口の伸びと共に、介護が必要な人も年々増えています。そのため、加入者が介護サービスを受けたときに支払われる保険給付費は年々増加しています。

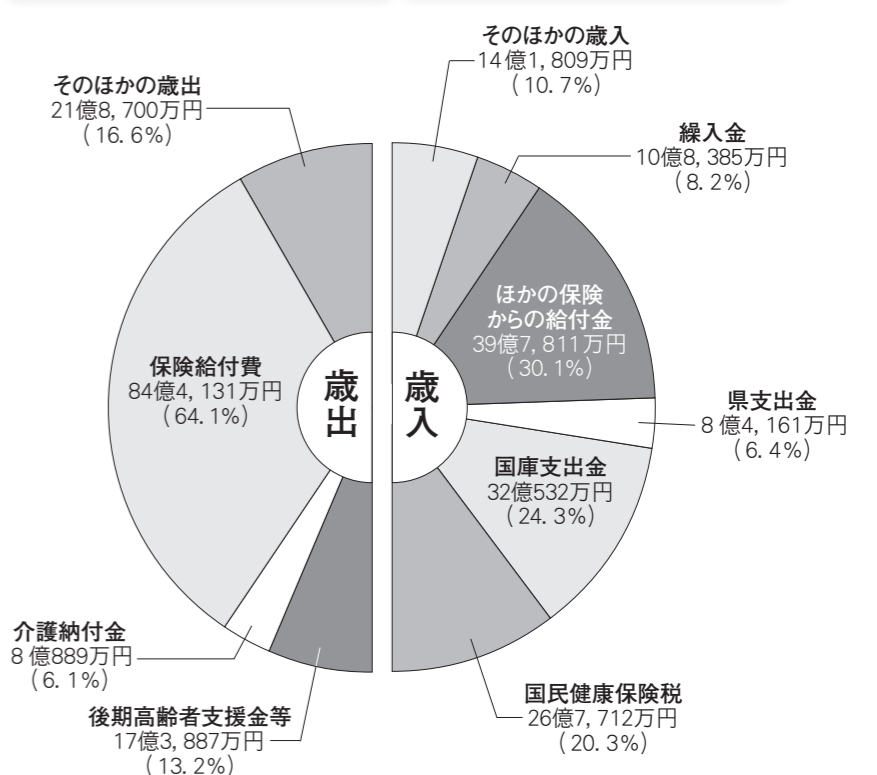
平成24年度の介護保険特別会計の歳入で、最も大きな割合を占めているのは、40歳以上65歳未満の人がそれぞれ医療保険に上乗せして納めている支払基金交付金です。65歳以上の人が納める保険料と合わせると、歳入全体の半分近くを占めています。また、歳出の約9割を占めているのは、保険給付費です。

介護保険を支えているのは、皆さんの納める介護保険料です。特別な事情がないのにも関わらず保険料の滞納を続けていると、介護にかかる費用をいったん全額支払わなければならないことがあります。自己負担が3割になつたりします。介護保険料は忘れずに納期内に納めるようにしましょう。

●問い合わせ：高齢福祉課 ☎39・1244

国民健康保険特別会計の 平成24年度決算の概要

▶歳出総額 131億7,607万円(100%)
▶歳入総額 132億410万円(100%)



区分	23年度	24年度
加入状況(年間平均)	世帯数 20,218世帯	19,923世帯
	被保険者数 35,768人	34,768人
1人当たりの医療給付	医療費 280,859円	288,937円
	受診件数 14.68件	15.10件

区分	23年度	24年度
国保税	36億1,278万円	36億2,599万円
医療費	107億225万円	109億8,907万円
介護納付金	7億5,546万円	8億889万円
後期高齢者支援金等	16億784万円	17億3,887万円
保険給付費	83億3,895万円	84億4,131万円

用語の解説

【歳入】▶国庫支出金…国が一定の基準に基づいて医療費の一部を負担するお金▶ほかの保険からの交付金…退職被保険者の自己負担額以外の医療費を社会保険などが負担するお金▶繰入金…市の一般会計から一定の基準に基づいて繰り入れるお金など
【歳出】▶保険給付費…国保加入者が病院などで支払う自己負担額以外の医療費や出産一時金、葬祭費など▶後期高齢者支援金等…75歳以上の人(一定の障がいのある人は65歳以上)が対象となる後期高齢者医療制度を支えるために、国保が負担するお金▶介護納付金…介護保険制度を支えるために国保が負担するお金

年度	区分	課税額	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
24年度	現年度分	26億9,897万円	24億8,068万円	91.9%	48万円	2億2,032万円
	滞納繰越分	9億2,702万円	1億9,644万円	21.2%	8,007万円	6億5,076万円
	合計	36億2,599万円	26億7,712万円	73.8%	8,055万円	8億7,108万円
23年度	現年度分	26億916万円	23億8,527万円	91.4%	39万円	2億2,535万円
	滞納繰越分	10億362万円	1億9,295万円	19.2%	9,436万円	7億1,637万円
	合計	36億1,278万円	25億7,822万円	71.4%	9,475万円	9億4,172万円
比較増減	現年度分	8,981万円	9,541万円	0.5	9万円	▲503万円
	滞納繰越分	▲7,660万円	349万円	2.0	▲1,429万円	▲6,561万円
	合計	1,321万円	9,890万円	2.4	▲1,420万円	▲7,064万円

日頃の健康管理が大切です

国民健康保険(以下、「国保」)は、社会保険などに加入していない人が加入する医療保険です。国保の歳入の主なものは、加入者の皆さんが納める国保税と、国や県からの支出金です。国保の加入者が病院などで支払うお金は、かかった費用の3割で残りは国保から支払われます。70歳から74歳までの人は、医療費の自己負担額が1割(一定の所得がある人は3割)です。また、自分の間、18歳以下の全ての人の医療費の自己負担はありません。

平成24年度の国保特別会計は、収納率の向上などにより歳入総額が前年度より増加しました。一方、医療費の伸びなどにより、歳出総額も前年度より増加しました。そのため、市の一般会計から3千万円の基準外繰入れを行いました。例年に比べると少ない金額で抑えられています。医療費が増えれば、皆さんの負担も大きくなります。皆さんの負担を大きくしないためにも、特定健康診査を受診しましょう。特定健康診査が必要な場合にはしっかりと指導を受け、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防・改善に努めましょう。

●問い合わせ：国保年金課 ☎39・1244